

平成20年3月25日

会員 各位

社団法人 日本病院薬剤師会

振り込め詐欺の被害発生

平成20年3月18日付で「振り込め詐欺に注意」とする文書を掲載し、注意喚起を行ったところですが、今般、盛岡市内の病院で下記のような手口による振り込め詐欺の被害が発生いたしました。これまでの事案は、未遂で被害はありませんでしたが、今回の事案は被害額が200万円となっております。今後も東北地方を中心とした病院において同様の手口による詐欺の被害が多発する可能性がありますので、会員の皆様におかれましては改めて充分にご注意戴くとともに、ご家族が被害に遭わないよう周知徹底をお願いいたします。

記

事案1

3月24日（月）10時から11時頃、盛岡市内の病院の薬剤師（女性）の自宅に、勤務している病院長を名乗る男性から電話があり、「お宅のお嬢さん（薬剤師）が小児の患者に大人の量を調剤し、患者が重篤な状態となり警察に行っているが、今なら示談できる」と連絡があり、母親が電話で対応され、即日、指定された銀行口座に200万円を振り込んでしまったというものです。

なお、同日の同じ時間帯に同病院に勤務する10名の薬剤師の自宅にも同様の詐欺の電話があり、そのうち1件は副院長と名乗る男性から薬剤師（女性）の母親の携帯電話に、「お知らせまでだが、お宅のお嬢さんが調剤中に過誤を起こした。現在、お嬢さんは弁護士と面談中であり電話に出られず直接話は出来ない状態だ」とし、金の要求はなかったものの、不審に思った母親が職場に問い合わせ詐欺と気づいております。

25日（火）にも同じ時間帯に同病院の2名の薬剤師の自宅に振り込め詐欺の電話があったそうですが、被害はありませんでした。